



第3分科会

「カリスマな活動から 地域それぞれの在り方を探る」



(公財)ダイヤ高齢社会研究財団
澤岡詩野
sawaoka@dia.or.jp

人生100年、『長寿命化』がもたらしたこと

表2 平均寿命の年次推移

(単位:年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
13	78.07	84.93	6.86
14	78.32	85.23	6.91
15	78.36	85.33	6.97
16	78.64	85.59	6.95
17	78.56	85.52	6.96
18	79.00	85.81	6.81
19	79.19	85.99	6.80
20	79.29	86.05	6.76
21	79.59	86.44	6.85
22	79.55	86.30	6.75
23	79.44	85.90	6.46

1950年 → 1970年 → 2014年

2025年 2060年

男性:

59.6歳 → 69.3歳 → 80.2歳

81.5歳 84.2歳

女性:

62.9歳 74.7歳 86.6歳

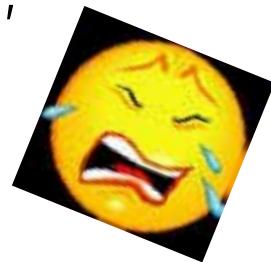
88.2歳 90.9歳

終の棲家であるはずの「地域社会」の今

住民の助け合い組織、町内会、子ども会、老人会の加入率低下
近所との付き合いはゴミ捨てだけで、ほとんど交流がない
高齢化が著しく進み町内会が成立しない、

- 人口密集地域の新宿区や渋谷区でも「限界集落」が出現
買い物難民、死亡して半年間も発見されない「孤独死」
など、問題は山積み
- 駅前からコンビニが消えるのは危険信号…
 - * **限界集落**: 人口の50%が65歳以上の高齢者になり、
冠婚葬祭など生活の維持が困難になった集落
 - かつては地方の問題であった

地域崩壊が招くもの: 犯罪率増加、孤独死・孤立死、
自殺の増加、買い物難民、児童虐待の増加、
災害時対応の遅れ、病院など公的施設や交通など未整備



みんなに居場所と出番を！ 「富山型デイサービス」

高齢者や子ども、赤ちゃん、障がいがあってもなくても、**いろんな人たちが一緒に楽しく過ごす**

みなでお茶を飲んだり、おしゃべりしたり、ご飯を食べたり、
テレビを見たり、**なにげない普通の日常の生活**を大事に
民家を改装して作った小さい普通の家

自分の住んでいる普通の民家がバリアフリーになり、生活や介護も
しやすくなった場

病院や老人ホームなどの施設ではない居場所を作りたいという
看護士さん達が退職金で平成5年に仲間と立ち上げ

今では富山県独自の取り組みとして全国に普及しつつある
障がいをもつ人が運営担う職員になったり、高齢者が子どもの面倒
を見たり、すべての人にできること、役割がある

→**新たな就労の形を模索中！**
*デイサービスとは?
:施設に入所するではなく、昼間に日帰りで利用できる
通所介護サービス
:法制度が別なこともあります、一般的に年齢や障がい者で区別

指定
就労継続支援
B型事業所

はたらくわ

◆平成25年4月開所◆

「はたらくわ」って？

- ▼富山型デイサービスで働いている障がい者（施設外就労）を職員が巡回して支援します。定員は20名です。
- ▼それぞれの事業所に働きやすい環境づくりなどの助言をします。
- ▼「はたらくわ」の「わ」は、“和”的仲むつまじい、“輪”のまるくなる、つながる、つなぐという意味をこめています。

「働く」

(就労継続支援 B型)

身近にある富山型デイサービスで働きます。
掃除、食事の補助、食器洗いなどが仕事です。

障害者総合支援法で「働く」

- 在宅生活している障がい者
障がい者が受け取る報酬は、就労先の富山型ティや、仕事の内容により異なります。



富山型ティ A



富山型ティ B



富山型ティ C

「はたらくわ」事務所

特定非営利活動法人デイサービス
このゆびとーまれ

〒930-0928 富山県富山市高岡町 355
TEL/FAX 076-493-0765
メール konoyubi@r9.dion.ne.jp
管理者 惣万佐代子
サービス管理責任者 山口 貢一

地域がつながる！ おおた高齢者見守りネットワーク「みま～も」

地域住民，商店，サービス事業所，医療機関など**様々な人たちによる見守り，支えあい**により，高齢者が安心して暮らし続けられる地域づくりをめざして平成20年5月にスタート

運営は牧田総合病院が運営する地域包括支援センター



・地域づくりセミナー開催

医療，介護，いきがい，災害など多様なテーマで毎回100名程度の地域のアクティブシニアが参加

ネットワーク会員事業者などが運営補助

・高齢者みまもりキーホルダー(平成24年から区の施策に)

外出先で倒れたり，徘徊などの際に本人確認ができる

・みま～もステーション 商店街と共同で行うサロン事業

歴史，パソコン教室などの講座，レストラン，喫茶

・公園の管理委託 児童公園を多世代交流の場に

高齢者有志が管理ボランティア，体操，ウォーキング講座

お客様を
つくらない
全ての人には
「居場所」と
「出番」を

受け手でもあり担い手にもなれる 「公園ボランティア」「ミマモリ食堂」

荒れ果てた「公園」を自らの手で
皆が集う居場所に

- 忘れられた荒れ果てた公園
- 健康器具が入り、皆の集う場に
- 自分たちの居場所は自分たちで綺麗に！
- お祭りや野菜作りの達人を中心とした農園
(子ども達との世代間交流)



味はもちろん、接客が自慢
「元気があさんのミマモリ食堂」

- 始まりは「みま～もレストラン」
栄養士さんから学びながら、皆で楽しく会食
 - そこに集う腕自慢、喋り自慢のかあさん達が
立ち上がり、金曜日限定で食堂を開設
- 見守られる側でもあり、担い手でもある

「元気があさんのミマモリ(みま～も)食堂」

~いつでも・誰でも気軽に集い
笑顔になれる場所~

元気なかあさんたちとおしゃべりをしながら、楽しい時間を
過ごしませんか。気軽に立ち寄れて。何げないおしゃべり、
ゆっくりと過ごしてもらえて、心がほっこりできる...
そんな場所です。ぜひ一度お立ち寄り下さい。

●日時:毎週金曜日 11:00～13:00
(ラストオーダー12:30)

●場所:アキナイ山王亭
(柳本通り商店街 カドヤ食品3軒隣)

◆1食500円 限定20食の提供となります。

本日のメニュー

- ・おにぎり (ゆかりご飯)
- ・白身魚のあんかけ
- ・アスパラの梅内和え
- ・なすのね味噌汁

専門家に気軽に相談できる！ 「暮らしの保健室」

高齢化率が45%を超え、相談できる血縁もいない一人暮らしが多く住む新宿区戸山ハイツ

開設したのは訪問看護ステーションを続けていた看護師さん
病院や地域包括支援センターに行くほどでもない
なにを困っているのかすらもわからない
日常生活にはそんな事のほうが多いはず

地域で暮らす中で大切な事は、重篤化・深刻化する前の段階
子どもから高齢者までが抱える日常生活におけるちょっとした
不安を、気軽に近所で解決できる場が必要
医療や介護などの専門家が不安の種を見つけ出したり、解決
できる場につなげる場を目指し2011年9月に開設
→目指しているのは、病気でなくても来られる、おしゃべりだけ
でも大歓迎な「保健室」の様な居場所

専門家にできないことを担うのは 「地域の住民ボランティア」

医療や介護の専門知識を持つ専門家が苦手なこと

→丁寧に寄り添い、同じ目線で困りごとを引き出すこと

傾聴のトレーニングを受けた住民ボランティアが常駐し、話し相手やお茶出しなどを担当

引き出した困りごとや気づいた変化を専門家につなぐことで、**早期発見につながる**

住民ボランティアにも良い効果が生まれている

肩の力をいれずに

遊びにきている感覚

家以外の**居場所**が

できた

仲間に会えて、自分

が楽しいから



「ないなら作ってしまおう！」 こんな想いから始まった先駆者達の挑戦

残念なのは……

全国から視察が訪れますするものの感想は、

「素晴らしい！ , でもね…… ,

うちではこんなすごいことはできない」と無いものを数え上げる



今回のパネリストに共通するのは、

自治体に依存ではなく、連携するパートナーとしてのつながりを構築
規制の枠組みに捉われず、多世代で多様なつながりづくりを目指す
カリスマを完全にコピーするのではなく、まずはできる範囲で自分の
地域の在り方を柔軟に模索